



子供たちへの自然体験プログラム

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク 【豊富町】

次世代へ引き継ぐ、美しい自然と人間との共生

【はじまりは？】

サロベツ及び周辺の自然と地域を愛する者たちが集い、サロベツの豊かな自然環境を保全するとともに、豊かな自然を次世代に引き継ぐことを目的として、平成16年4月に設立し、地域住民や商工業者、行政職員、大学関係者などを会員として、様々な地域協働活動をスタートさせました。

組織名の「サロベツ・エコ・ネットワーク」には、サロベツの豊かな大地で、人と人、人と自然の架け橋になりたいとの想いが込められています。

【おもな活動】

国立公園内の環境美化や自然環境調査及び環境教育活動等を継続するとともに、地域参加型の事業として、海岸線や河川の清掃活動のほか、住民並びに趣旨に賛同して下さる方々と協働で現地産ミズナラの植樹を行い、稚咲内海岸砂丘林の再生を図る事業を展開しています。

また、環境教育活動として、次世代を担う地域の子供たちへの自然体験プログラムの充実、教育機関の研修受け入れやネイチャーガイドの実施など人材育成も積極的に実施しています。



エコモーDayの様子

このほか、年に1回サロベツ湿原センターで「エコモーDay」という自然再生事業を知っていただくためのイベントを、地域で活動している様々な団体と協力しながら開催しています。

【ここが自慢】

【豊かな自然と共生する町 豊富町】

多様な自然環境を有する利尻礼文サロベツ国立公園のサロベツ地域の保全と、自然と共生する豊かな地域づくりを目指して、地域内外約200名の会員の皆様を中心に、年間20事業以上を行い、多くの方々にご協力いただき活動しています。

国立公園内の特別保護地域に指定されている稚咲内地域において、「未来の森どんぐりグリーン」と名付けた植栽地を舞台に、平成17年から現地産ミズナラの苗木の植樹を行っています。人と自然、自然と地域、人と人がつながるような地域参加型の活動として、植樹イベントを実施し、約4,000本が順調に育っています。



ミズナラ苗木の植樹活動

連絡先

代表者名：千葉 久さん／設立：2004年／会員：200名

住所：天塩郡豊富町西6条6丁目

電話番号：0162-82-3950

F A X：0162-82-1009

E-mail：info@sarobetsu.or.jp

U R L：http://sarobetsu.or.jp/